

令和七年（二〇二五）三月二十七日発行
『大倉山論集』第七十一輯抜刷
（公益財団法人 大倉精神文化研究所）

翻刻 大倉精神文化研究所「日誌」（大正一四年～昭和九年）〔中〕

公益財団法人大倉精神文化研究所

翻刻 大倉精神文化研究所「日誌」(大正一四年～昭和九年)〔中〕

公益財団法人大倉精神文化研究所

目次

解題

概要解説

凡例

年表

翻刻「日誌」昭和七年までは前号、昭和九年までは本

人名索引

号、「欧洲日誌」は次号)

【凡例】

- 一、原本の漢字はすべて現代通用の字体に改め、かな文字・カタカナ・数字表記は原本通りとした。
- 一、明らかな誤字も原本通り翻刻した上で、正字を「 」でルビとして付した。
- 一、■は解読不能の文字を表す。
- 一、原本の書式は記録者や時期によって不統一である。本翻刻では、記載内容を十分に考慮した上で、書式を整理統一した。
- 一、文章の意に沿うように、適宜句読点を施した。
- 一、資料内容の理解のため、本文中に補注を「 」で適宜付した。
- 一、入力校正は岡崎寛徳、星原大輔、勝岡ゆかりが担当した。

【翻刻】(承前)

藤井、本日ヨリ五日迄旅行。

一月四日

皇紀二五九三年(昭和八年)

齋藤氏、来所。

一月一日 日曜 晴

所長、目黒へ帰宅。

所長、所員一同、目黒邸一同、午前六時半、参集。日

岡崎、小田原へ。

ノ出礼拝。七時ヨリ、拝賀式挙行。

一月五日 木曇

式次第

所長、来所。

一、所長一同入場

原田、原、奥野、フロイデンベルグ、来所。

一、最敬礼(二拍二拝)

瀬良氏外一名、同行来所。

一、勅語奉読

神道学者会合通知書、發送。

一、君ケ代

一月六日(金)

一、最敬礼

本日ヨリ執務。

一、退場

渡辺、女兒出生ニツキ一両日休暇。

所長、本日ヨリ引続キ在泊。

一月七日(土) 晴

一月二日

午前中、執務。午後、休。

瀬良氏、来所、参禪。

平井君、来所。

一月三日

一月八日(日) 晴

瀬良氏、来所、参禪。

奥野氏、来所。

参観者 東京市社会局・安藤氏、育心会、金子氏、

寺部氏、井手氏、阿倍氏。

一月九日(月) 晴

所長、来所。

研究所内部相談会。

出席者 大倉所長 原 坂戸 奥野 原田 外所員

一同。

決定事項

坂戸氏、原田氏(カード兼任)ハ、今後研究員ト

ナルコト。

新二研究室へ、塩入氏、藤本氏入室ノコト。

事務所へ原田氏ノ後任トシテ岡田氏入所ノコト。

午後五時ヨリ、東京会館ニ於テ、神道学会合。

一月十日(火) 晴

所長、来所。岡田氏同道。岡田氏、明日ヨリ出勤。

奥野氏、本日ヨリ富嶽荘ニ止泊。

山田、今泉先生宅へ原稿持参。

一月十一日 水 雨

所長、来所。

原氏、研究所へ止宿。

原田氏、フロイデンベルグ氏ト本店へ出張。

一月十二日 木

所長、来所。

坂戸氏講演(伝教大師ニツイテ)。

聴講者 所長 研究員 所員 高月、目黒、井上三

女史。

参観者 帝国図書館長・松本喜一氏、天理図書館

長・中山正善氏外一名。

一月十三日 金 曇

所長、来所。

参観者 麓保孝氏 外二名。

黒川君、本日ヨリ出勤。

一月十四日 土

所長、来所。京都、大阪へ旅行。

奥野氏、帰宅。

一月十五日 日 晴

日本女子大学生十名、参観。

一月十六日 月 雨

本日ヨリ、感想封筒書、開始。

一月十七日 火 晴

所長、帰京。

奥野氏、来所。

一月十八日 水 晴

所長、神奈川県庁へ、租税ノ件ニ干シ相川部長ヲ訪問。

午後、沼津へ講演旅行。

一月十九日 木 晴

奥野氏、帰宅。

一月廿日 金 晴

所長、来所。原氏、来所。

参観者 二名

一月廿一日 土 曇

所長、風邪ニテ来所サレズ。

山田、史料編纂所へ壹千円持参。

一月廿二日 日 雪

附近青年僧侶会合（二名）。奥野、原田、出席。

参観者 横浜本願寺別院・池田氏外二名。

一月廿三日 月 晴

所長、引続キ引籠。

一月廿四日 火 晴

感想封筒書、終ル。

一月廿五日 水

所長、出所。

参観者 五十嵐氏外三名。

一月廿六日 木

所長、来所。原氏、来所。

奥野氏、帰宅。

坂戸氏ノ伝教大師ニツイテノ講話アリ。

一月廿七日 金

一月廿八日 土

所長、来所。奥野、藤本氏、来所。

目黒邸ニ於テ、中等教育談話会アリ（午後五時ヨリ）。

所員一同、出席。

大掃除、挙行。

一月廿九日 日

出口少将、参観。

一月卅日 月

所長、来所。

参観者

一月卅一日 火

所長、来所。

富嶽荘ノ畳、搬入。

家屋税ノ件二千シ、山田、神奈川県庁へ出張。

二月一日 水

二月二日 木 晴

所長、来所。

午前十時ヨリ、会議室ニ於テ、原氏ノ神道二千スル講演アリ。

来聴者 所長 坂戸 奥野 藤本 目黒 井上 所

員一同。

午後七時ヨリ、目黒講堂ニ於テ、原田老師ノ宗教講話

アリ。

感想其九、五千部届ク。目黒ヨリ自動車ニテ、明世堂ヨリ購入ノ図書到着。

二月七日

午後三時ヨリ、研究員相談会。

セラ―氏、来所。所感ヲ語ル（所員一同ニ対シ）。

午後五時ヨリ、フロイデンベルグ氏送別会ヲ、富嶽荘

ニ於テ行フ。

二月八日

午後九時、フロイデンベルグ、金沢ニ向ツテ出発。

本日ヨリ、感想其九、發送開始。

二月九日

フロイデンベルグ敷金受取。

午前九時半ヨリ、原氏講演。

藤本氏、本日ヨリ富嶽荘ニ起居。

二月十日

感想第初回發送、終了。

二月十一日 紀元節

所長、来所。

二月十二日 日曜

二月十三日 月

日本橋洋紙店ニ於テ、神道学者会合。

感想小包、発送開始。

二月十四日 火

二月十五日 水

所長、高崎市高崎商業へ、講演ノタメ出張。

所長、今夕ヨリ関西ニ旅行。

山本榮作氏母堂逝去ニツキ、山田、参上。

二月十六日 木

原氏、来所。

二月十七日 金

目黒ヨリ自動車来リ、感想発送ヲナス。

二月十八日 土

所長、大阪ヨリ帰所。

小机町青年団・処女会員六十数名、参観。所長ノ講話

アリ。

坂戸氏、ベッオールド氏外一名同道、来所。

二月十九日 日

附近青年僧侶集会。所長、出席。

関氏、参観。

二月廿三日 木

所長、来所。

坂戸氏、講演（午前十時ヨリ）。

原氏、来所。

午前十一時、橘村青年訓練所生徒卅八名、参観。

二月廿五日 土

所長面会日。面会者八名。

原氏、奥野氏、来所。

二月廿七日 月

所長、来所。

山田、家屋税ノ件二千シ、神奈川県庁ニ行ク。

二月廿八日 火

所長、来所。

奥野氏、来所。本日ヨリ富嶽荘ニ止宿。

三月二日 木

神奈川県立横浜第一高等女学校長・船越氏外職員廿一名、参観。所長、案内講話。

午後七時ヨリ、目黒講堂ニ於テ、宗教講話アリ。

三月三日 金

所長、来所。

下記承諾書ヲ史料編纂所へ送ル。

一、瓊矛拾遺 渋川春海著 一冊

一、神代巻口授 松岡仲良口授 三冊

一、神学大意 松岡仲良口授 一冊

一、玲瓏翁雜録 村田常昌著 一冊

一、宝曆記及後記 村田常昌著 二冊

一、諸伝抄 松岡仲良口授 二冊

一、神学雜記 松岡仲良著 一冊

一、神儒問答 室鳩巢遊佐好生問答 一冊

一、日本書紀筆記 村田常昌問書 一冊

一、三科祓講議 香山先生著 一冊

一、中臣祓講義 村田仲良著 一冊

一、神武記抄 一冊

一、神武記二重口授 岡田正利筆記 一冊

一、吉川惟足先生門内講習手記 清重翁手跡 二冊

以上、兵庫県印南郡曾根町 曾根研三氏所蔵

三月四日 土

浅草本願寺社会事業団体卅名、見学。

附近青年僧侶集会。

近郊神官数名、参観。其他参観者数名。

原氏、来所。

三月五日 日

農林省・平氏外三名、村尾兵藏氏外二名、参観。

所長、来所。

本日ヨリ、第一商業（東京）学生・大河原、三箇原両

君、富嶽荘ニ止宿シ、研究所事務ヲ手伝フ。

三月六日 月

神典編纂学会（日本橋ニ於テ、午後五時ヨリ）。

三月七日 火

所長、来所。 研究員ノ社会教育ニ干スル協議アリ。

原氏、来所。

桜井大典氏、参観。

三月八日 水

所長、来所。

三月九日 木

所長、来所、宿泊。 原氏、出所。

午前九時半ヨリ、藤本氏ノ日蓮ノ国体観ニ就テノ講演

アリ。

安行ヨリ杉五十本到着。 即日植樹（廻廊内庭）。 右ノ

内十四本ハ、神道講習会員寄附ノ記念樹（金廿円）。

三月十日 金

所長、出所。 目黒ヨリ、高月、目黒氏、来所。

スリッパ購入（8打）。

三月十一日 土 雪

所長、来所。

女子大・岡先生、三高生徒主事 氏、文明協会・木

村氏外数名、参観。

三月十二日 日

所長、来所。

参観者数名。

三月十三日 月

所長、来所。 夜、関西方面ニ旅行。

三月十五日 水

原氏、来所。

参観者 近村農夫拾餘名。

神典編纂助手、来所（六名）。

三月十七日 金

所長、昨夜帰京、来所。

本日ヨリ、製本師・宗村君、出勤。 当分研究所ニ止宿。

三月十八日 土

杉苗三千本、安行ヨリ来ル。 直チニ所員総動員ニテ植

込ニ着手。 人夫四名。 午後ヨリ、石川、小坂兄弟来援。

夜、新田小学校ニ於テ、青年団ニ対シ、所長講演。

牟田君、風邪ニテ就床。

三月十九日 日

午前中、昨日ノ残杉植込。

午後、所長、都田小学校ニ於テ、橘郡処女会員ニ対シ、
修養講話ヲナス。

三月廿日 月

藤本氏、風邪ニテ臥床。

三月廿一日 火 春季皇霊祭

所長、来所。

三月廿二日 水

藤井、藤本氏、風邪引籠。牟田氏、回復出勤。

臨時仏教講演会案内状、発送。

三月廿三日 木

原氏、来所。

藤本、藤井氏、引籠。

渡辺氏、病氣療養ノ為メ辞職願出ス。

三月廿四日 金

原氏、来所。

三月廿五日 土

所長、出所。原氏、出所。

渡辺退職手当金支給（¥30,000）。

三月廿六日 日

所長、出所。

荒木建築師、松村請負師、来所。正門工事ノ件ニツキ

打合セヲナス。

三月廿七日 月

丸ノ内工業倶楽部ニ於テ、神典編纂ノ会合ヲ催ス。

三月廿八日 火

山田、取得税ノ件二千シ、神奈川県庁ニ行ク。

三月廿九日 水

正門工事ニ着手。松村建材社。

三月卅日 木

所長、文省官邸ノ社会教育調査会ニ出席。

原氏、来所。

参観者 堺吉輔氏同伴台湾市方面委員・王兆麟氏外

二名、都田小学校先生一名生徒卅五名。

原氏、来所。

四月一日 土

小住宅附近へ植木植込（所員一同）。

外庭掃除。

仏教講演会聴講券、発送。

四月二日 日

所長、出所。

参観者 トラウツ氏夫妻其他数名。

四月三日 神武天皇祭

田村氏、来所。

四月五日

四月六日 木

所員一同、外庭掃除。

原氏、来所。

四月七日 金

安行ヨリ杉苗一千本到着。所員一同、植付ヲナス。

お厨子搬入。

四月八日 土

記念講演会準備、午前。

午後、入仏式（古川堯道師外五氏）、挙行。

四月九日 日

記念講演会、午前九時ヨリ午後四時迄。

講師 午前ノ部、塩入亮忠氏ノ平安仏教と民族の自覚。

午後、辻善之助博士ノ日本仏教と民族精神。

来会者 百数名。

所長ハ数日前ヨリ風邪引籠中ニテ、当日モ欠席。

四月十二日 水

山田、辻博士、塩入氏へ謝礼持参。

参観者

四月十三日 木

原氏、出勤。

接心会案内状、発送。

四月十四日 金

四月十五日 土

四月十六日 日

横浜市第二隣保館長・加藤米吉氏引率、同所婦人修養

会々員四十数名、参観。其他数十名。

桜風会々員卅名餘、参観。

表門ボーガン吹掛作業、終了（全工事終り）。

四月廿日 木

本日ヨリ、草取婦雇入。

四月廿一日 金

本日ヨリ五日間、研究所道場開単記念接心会、開催。

記録アリ。

四月廿二日 土

接心会。

附近青年僧侶ノ会合アリ。

原氏、来所。

四月廿三日 日

接心会。

四月廿四日 月

接心会。

五藤慶太氏外五名、参観。

四月廿五日 火

接心会、終了。

四月廿六日 水

河野省三博士外、國學院大學々生道義会々員十数名、参観。

原氏、来所。

四月廿七日 木

靖国神社大祭ニツキ、午後休所ス。

四月廿九日 土

天長節。

五月一日 月

矢口小学校職員生徒七十名餘、参観。

五月二日 火

調布小学校職員生徒父兄四十名餘、参観。

五月三日 水

大風アリ。植木多数倒ル。

五月四日 木

所長、関西旅行ヨリ帰京。来所、宿泊。茶話会ヲ開ク。

植木ノ手入ヲナス。

五月五日 金

所長、来所。

職人1、植木屋1、石川氏、研究所側3、植木ノ手入
ヲナス。

五月六日 土

所長、護国寺ニテ講演。

植木手入（植木屋1、職人1）。

五月八日 月

下記承諾書ヲ史料へ送附ス。

一、社倉法師説 若林強齋編並ニ手写、松平定信

手澤本

一、神道質問写本 山本復齋

一、神代卷講義 浅見綱齋筆記編 写本

一、綱齋答問 浅見綱齋著 写本

以上、中野区城山町廿七 内田周平氏

一、松岡仲良書状

一、松岡仲良、同夫人、同主鈴三名書状

一、と、めかねたる（松岡仲良及門人村田常昌等筆

蹟ノ雜綴）

一、留守友信書状

一、同上

以上、兵庫県印南郡曾根町 曾根研三

五月九日 火

神典編纂協議会。午後五時、工業倶楽部ニ於テ。

五月十一日 木

横浜市第一高女母ノ会々員約八十名、參觀。

本日ヨリ一泊予定ニテ、所長及研究員旅行ヲナス（箱

根）。

五月十二日 金

五月十三日 土

事務所員一同、日光へ一泊旅行ヲナス。

東西本願寺布教師廿五名餘、參觀。

五月十四日 日

大正大学々生卅名、矢吹慶輝氏引率、參觀。

日本女子大学々生五十名餘、參觀。

五月十五日 月

所長、関西方面へ旅行。

五月十七日 水

所長、帰京。

全国中等学校々長宗教々育協議会、開催。参会者九十名。

五月廿日 土

研究員相談会。所長、原、坂戸、奥野、原田、藤本、藤井氏、出席。

五月廿三日 火

奥野、原氏、来所。

五月廿五日 木

研究員相談会。藤井氏発表。

五月廿七日 土

中等教育談話会（午後七時ヨリ、目黒邸ニ於テ）。

五月廿九日 月

東京麻布区歯科医師会代表・前田正次氏ヲ通ジテ、医師会ヨリ、ツゲ一本寄贈ヲ受ク。

五月卅日 火

宗教講話会通知状、発送。

六月一日 木

研究員相談会。研究員全部、集合。

金福鉄道支配人・兼井林蔵氏、来所。本日ヨリ、当分富嶽荘ニ止宿。

六月二日 金

目黒講堂ニ於テ、宗教講話会。午後七時ヨリ。

六月三日 土

基督教青年会員十数名、參觀。

研究員会合。作務。

六月四日 日

大正大学々生、參觀。

六月五日 月

六月六日 火

富士見幼稚園々児、来所。附近ノ葎園ニテ葎取りヲナス。

馬場氏、来所。

六月八日 木

研究員会合。

六月九日 金

臨時ニ作務ヲナス。

六月十日 土

研究員会合。

事務所会合。

六月十一日 日

中央郵便局員四十名餘、參觀。

女子大学生、參觀。

六月十三日 火

神典編纂学者会合（午後五時半ヨリ、工業俱樂部）。

所長、関西方面へ旅行。

六月十五日 木

六月十七日 土

研究員会合。所員作務。

横浜高工仏教青年会員、參觀。

六月十八日 日

六月十九日 月

所長、帰京。来所。

六月廿二日 木

國學院大學々生約卅名、植木教授引率、參觀。

六月廿三日 金

所内大掃除。

六月廿四日 土

京華高等女学校五年生徒百卅五名、參觀。

六月廿九日 木

事務所員会合（目黒邸にて）。

六月卅日 金

大祓式、挙行（午前八時）。

中等教育談話会（午後五時ヨリ、目黒邸にて）。

七月一日 土

所長、大綱小学校ニテ講演（午後八時ヨリ）。

七月二日 日

富士見幼稚園同窓会ヲ研究所ニテ催ス（運動会）。

所長、午後、関西方面へ旅行。

午後七時ヨリ、宗教講話会（目黒講堂）。

七月五日 水

使命事業校了。印刷所へ廻付。

所長、伊豆ノ光ノ村へ。

七月六日 木

所長、帰京。

岡田氏、河野省三氏宅へ原稿受取ニ出張。

研究会会合（全部出席）。

七月七日 金 久振りニ昨夜ヨリ降雨アリ

所長、来所。

七月八日 土

研究会会合。

七月九日 日

京都ヨリ、釣鐘到着。

七月十日 月

釣鐘ヲ塔上ニ運搬ス。

七月十一日 火

史料編纂所へ壺千円持参。

原田氏、名古屋へ書籍受取ノタメ出張。

七月十二日 水

鐘ヲ釣ル。

七月十三日 木

釣鐘ヲ、本日ヨリ撞キ始ム。

所長、夕方ヨリ、関西へ旅行。

山田、神奈川県区役所へ取得税免税願提出。同時ニ前納

ノ家屋税八百四拾七円七拾参銭返却金ヲ受取来ル。

七月十五日 土

所内大掃除ヲナス。

七月十七日

名古屋ヨリ、図書到着。大周寺寄贈ノモノ（四千冊）。

七月十八日

所長、帰京。

七月十九日

午後七時ヨリ、目黒講堂ニ於テ、伊藤證信氏ノ無我ノ

愛ニツイテ講演アリ。

七月廿一日 金

所長、講演旅行。

七月廿二日 土

所長、箱根ニ於ケル女子青年会夏季講習会員ニ講演。

七月廿四日 月 大風アリ 被害ナシ

所長、帰京。来所。

本日ヨリ、國學院大學ノ小野祖教氏、研究ノタメ引続
キ来所。

本日ヨリ、商科大学々生・風見氏、早大・大高氏、共
二本夏中富嶽荘ニ止宿。修養、勉学、労働ヲナス。

七月廿五日 火 大風アリ 被害ナシ

礼拝堂用燈籠、小住宅用蚊帖（六ツ）、購入。

本日出所者、原、原田、小野氏。

藤本氏、今夕ヨリ九州へ帰省。

七月廿六日 水

所長、来所。坂戸氏、小野氏、来所。

横浜桜風会員十数名、參觀。

七月廿七日 木

山田、本日ヨリ暑休。

七月廿八日 金

岡崎氏、本日ヨリ暑休。

七月卅一日 月

裏ノ松林、開拓ヲナス。

八月一日 火

所長、来所。

国士館教授・簗田氏、參觀。

八月二日 水

所長、名古屋へ旅行。

八月三日 木

原、奥野、藤井氏、出所。

伊藤証信氏へ、講演礼送。

八月四日 金

アトメタル商会ヨリ、神鏡来ル。

岡田、帰郷。夜、大高氏、来宿。

八月五日 土

山田、岡崎、京都一燈園、妙心寺、比叡山等、見学旅

行ニ出発ス。

研究員・原、奥野、原田、藤井、出所。

横浜桜楓会員、中学生修養会ノ件ニツキ来所。

八月六日 日 雨

黒川、本日ヨリ向フ三日間、図書館講習会ニ出席。

八月七日 月 曇

所長、来所。

終日、門前道路ナラシ。

午後、早稲田学生・八木下氏、来所。八月中宿泊、手
伝ヒノ予定。

夜、岡本利吉氏、山形県篤農青年・松田源次郎氏ヲ伴
ヒ、来所。松田氏、一週間程滞在ノ予定。

原田、本日ヨリ小宿舍ニ宿泊。

高橋氏、出所。

八月八日 火 晴

酒井伯爵家ヨリ下記謄写承諾書来ル。史料へ廻送ス。

1. 雑話続録 1. 綱斉先生答問書

1. 雑話筆記 1. 植田遊佐往復書

1. 神道夜話 1. 望楠所聞

1. 先哲手簡 1. 山崎先生話録

1. 社倉法並附考

以上

坂道溝掘リヲナス。

高橋氏、本日ヨリ宿泊。

松田氏、今夜帰郷。

八月九日 水

所長、午前来所。

京都見学団・岡崎、山田、帰所。

牟田、本日ヨリ広島ニ於ケル文部省ノ図書館講習会ニ
出席（十日間）。

京都ヨリ、仏具来ル。

黒川、岡田、本日ヨリ休暇。

原田、帰宅。

八月十日 木

所長、来所。原、藤井、出所。

本日午後三時、中学生修養会員及父兄、来所。所内案
内、所長講話。学生、入舎ヲ終ル（廿名）。

八月十一日 金

中学生修養会第一日目。

原、坂戸、出所。原田、本日ヨリ滞在。

修養会労働ハ道路ノ草取り。

植木謙英氏、本日ヨリ小住宅ニ滞在。

八月十二日 土

中学生修養会第二日。

研究員全部、出所。小野氏、来所。

外国語学校学生・三宅君、本日ヨリ富嶽荘ニ滞在。

八月十三日 日

中学生修養会第三日。

小野氏、来所。

広島三原女子師範教諭・日新義虎、宮崎女子師範・麻

生房助両氏、富嶽荘ニ滞在(当分)。

奥野、富嶽荘ニ止宿。

八月十四日 月

中学生修養会第四日。

礼拝堂ノ神鏡、来ル。

農学博士・小野武夫氏、参観。

八月十五日 火

中学生修養会第五日。

岡田、帰京。本日ヨリ出所。

八月十六日

中学生修養会第六日。

八月十七日 木

中学生修養会終了式。父兄招待。

研究員全部、出席。所長、原田、帰宅。

八月十八日 金

奥野、帰宅。日新、麻生両氏、下山。

八月十九日 土

所長、沼津へ旅行。

テニスコート前方ノ山林ヲ拓キ、講堂建築ノ計画ヲナ

ス。本日ヨリ着手。

八月廿日 日

人夫、本日ヨリ来ル、四人。コンクリート漕工事。

八月廿一日 月

前日同様、人夫四人。本日ヨリ、コンクリート基礎打

ヲ始ム。

原田、本日ヨリ富嶽荘ニ滞在。

八月廿二日 火

前日同様、人夫四人。基礎工事。

原、大阪ノ河飯氏ヲ同伴。河飯氏、滞在。

八月廿三日 水

所長、帰京。藤本、帰所。河飯氏、滞在。

人夫四人、前日同様。

山田、東横地所部へ、標柱建設地所ノ件ニ干シ談合ニ

行ク(佐々木面会)。

八月廿四日 木

研究会会合。全員出席。

植木謙英氏、十二日目ニ下山。河飯氏、下山。

奥野、本日ヨリ滞在。

人夫四人、引続キ基礎コンクリー工事。

桜楓会員・遠藤氏外一名、来所(廿六日謝恩会ノ件)。

八月廿五日 金

観艦式見学。所長、原田、奥野、小野、原田。

人夫四人、引続キ基礎コンクリー工事。

八月廿六日 土

午後三時ヨリ、謝恩会(横浜桜楓会員)。

東京府立一商・山本麟太郎、石田壮吉、伊藤勝次氏、

參觀。原田、帰荘。

人夫五人。

八月廿七日 日

天岫接三、鈴木大拙、石原氏外三名、来所、宿泊。

中学生・原、遠藤、中野、三浦、来荘滞在。

宮本、帰荘。

人夫五人。

風見氏、下山。

八月廿八日 月

奥野、帰宅。牟田、帰荘。

人夫三人。

八月廿九日 火

臨時終日労働。

人夫五人。

八月卅日 水

人夫三人。

中学生、下山。

八月卅一日 木

人夫三人。

三宅氏、下山。

山田、休暇。本日ヨリ三日。

九月一日 金

人夫休ミ。

震災記念日ニテ、昼食ハ屋外ニテ握飯トナス。

九月二日 土

全員労働、コンクリート工事仕上ゲ。

所長、軽井沢へ旅行。

人夫五人。

九月四日 月

山田、本日ヨリ出所。

後藤基次氏外二名、参観。

九月五日 火

大風アリ。前庭ノ松樹十本餘、倒壊。引起シ作業ヲナ

ス。

山田、三省堂印刷部へ、日本書紀、万葉集、令義解及

律ノ原稿ヲ届ク。

九月六日 水

所長、旅行ヨリ帰京。

土溜工事、セキ板取払ヒヲ終ル。人夫三名。

福島テツ氏外参観者参名。

九月七日 木

所長、来所。坂戸氏、来所。

所内通路両側コンクリート敷設工事、開始。

研究会会合。

九月八日 金

所長、来所。

中等教育談話会、午後五時ヨリ、大倉洋紙店ニ於テ。

九月九日 土

所長、来所。

全員労働、土埋工事。表門階段下ノ標柱石塔、据付ヲ

終ル。

九月十一日 月

正面通路改修工事。

所長、午後来所。

佐藤光廣氏、本日ヨリ当分当所ニ於テ修業。

九月十二日 火

全員出勤。正面通路改修工事、完了。

所長、昨夜ヨリ宿泊。奥野、出所。

九月十三日 水

本日ヨリ労働時間ヲ改正。

毎日午前中所員二名宛、午後一名宛交代。

学生其他滞在中ノ修業者ハ、午前研究、午後労働。

所長、来所、宿泊。

太神宮手洗屋根新造、着手。大工一人。

九月十四日 木

研究会。研究員全部出席。

小野、来所。

本日労働、午前午後共、境内通路修正。

所員労働日割

月 午前 岡崎、宮本 午後 山田

火 〃 黒川、岡田 〃 牟田

水 〃 宮本、山田 〃 岡崎

木 〃 牟田、岡田 〃 黒川

金 〃 岡崎、山田 〃 岡田

土 〃 黒川、牟田 〃 宮本

臨時修業学生ハ、毎日午前中研究、午後作務。

九月十五日 金

所長、風邪ニテ出所ナシ。

九月十六日 土

研究会。奥野氏欠席、外全部出席。

午後、山田雲峯氏、木剣体操ニツイテノ講話及ビ実演

アリ。山上ニ一泊。

九月十七日 日

太神宮手洗屋根、仕上ゲ。

九月十八日 月

九月十九日 火

所長、出所。

桜楓会横浜支部・三浦氏、来所。母ノ修養会ノ件ニ干

シ、所長卜面会。

九月廿日 火

九月廿一日 木

研究会。研究員全部出席、原田欠席。

九月廿二日 金

所長、講話。

桜楓会横浜支部員ヲ中心トスル母ノ修養会、午後一時

ヨリ五時迄。参会廿一名。

神奈川実業聯合組員、神奈川区長外五十餘名、參觀。

今夕ヨリ、夏休修養会ニ参加セシ中学生十名、二泊ノ

予定ニテ、小修養会ニ参加。所長、指導。

九月廿三日 土 秋季皇靈祭

中学生修養会。

九月廿四日 日

中学生修養会。

中里村中村小学校・伊藤履道氏外男女生徒卅名、參觀。

九月廿五日 月

所長、貴族院公正会ニテ講演（大学改革案）。

原、来所。

深川・深町氏方ヨリ、林新之助氏、參觀ニ来所。感想、
使命事業、商売往来各70冊持帰ル。

九月廿六日 火

神典編纂学会合案内、発送。

所長、辛未会ニテ講演（大学改革ニツイテ）。

九月廿七日 水

所長、深川ニテ講演。

沼田喜雨太郎氏方へ、寄贈図書受取ノタメ出張（山田）。

九月廿八日 木

研究会。研究員全部出席。

小野氏、来所。

所員住宅三棟、横溝進太郎ニ注文。

十月二日 月

目黒講堂ニ於テ、宗教講話。

十月三日 火

横浜共立女学校職員生徒式百名、參觀。

十月六日 金

横浜母ノ修養会。

所員住宅地鎮祭。

十月九日 月

共立女子神学校生徒卅名、参観。

十月十四日 土

所長、関西へ旅行。

十月十七日 火

所長、帰京。

十月廿日 金

横浜母ノ修養会。

十月廿五日 水 晴

日本精神講習会第一日。午前九時ヨリ、修祓式。引続

キ加藤玄智博士講義。

十月廿六日 木 晴

日本精神講習会第二日。筑博士講義。

十月廿七日 金 晴

日本精神講習会第三日。平泉博士講義。

十月廿八日 土 晴

日本精神講習会第四日。今泉定助氏講義。

十月廿九日 日 晴

日本精神講習会第四日^(マ)。宮地博士講義。

午後二時半、終了式。式後直チニ裏庭ニ於テ、茶話会。

無欠席(会期中)者ニ国旗ヲ授与ス。

十一月二日

宗教講話。目黒講堂。

十一月四日

横浜母の修養会。

十一月五日

日本精神講習会々員寄贈記念樹、植込ヲナス(モチ

樹)。¥60,-(内¥30,-)

十一月七日 火

所員慰勞会にテ、伊豆山温泉ニ行ク。

十一月十一日 土

川崎中学校生徒百五十名、参観。

十一月十三日 月

横浜実科女学校生徒五百名、参観。

十一月十四日

所長、本夕ヨリ関西ニ旅行。

本日ヨリ、日本橋洋紙店二階ニ、神典編纂事務所ヲ置ク。所員、植木直一郎博士、小森嘉一氏。

十一月十八日

所長、関西ヨリ帰京。

十一月廿日

横浜母ノ修養会。

十一月廿四日

海軍兵器試験ニ、塔屋使用。

十一月廿五日

日本精神講習会速記出来、来ル。

神道講習会叢書ヲ、三省堂製本部、飯島製本部ニ送ル。

十一月廿七日

日本橋ニ於テ、神典編纂ノ件ニ干シ会議ヲ開ク。

十一月廿八日

日本精神講習会速記録ヲ、各講師宅へ届ケル。今泉、

平泉、宮地、寛（郵送）。（山田）。

十一月廿九日

下記承諾書ヲ史料へ送ル。

一、神祇提要 十二冊

一、全 続篇 一冊

宇治山田市外倉田山 神宮文庫

十一月卅日

山本信哉氏、星野輝興氏へ、神典原稿受取ニ行ク（山田）。

十二月二日

宗教講話（目黒講堂、午後七時ヨリ）。

十二月三日

研究所宿舍へ引越来ル。岡田、山田、佐山。

十二月四日

下記承諾書ヲ、史料編纂所へ送附。

一、味酒講記 七冊

一、倭姫命世記神木葉抄 三冊

一、伝神妙記 一冊

一、古語拾遺 二冊

一、氏族母鑑 十七冊

一、職原抄玉

九冊

一、延喜式神名式比保古綴 拾冊

松山市宮北古町 田内逸有

十二月五日

目黒講堂講読会。原、原田。

十二月九日

所長、高崎へ講演旅行。

十二月十五日

目黒講堂講読会。藤本、秋山。

十二月十七日 日曜

研究所忘年会（午前十時ヨリ、研究所ニ於テ）。

忘年会順序

一、一同神前礼拝 退場（午前十時半）

一、大倉所長挨拶

一、各係報告

1. 研究所事務一般

2. 研究室

3. 研究所図書購入、整理

牟田

藤本

原田

4. 副本作製部

藤原

5. 神典編纂事務

植木直一郎

6. 幼稚園（学びの会、日曜学校）

氏

7. 富嶽荘

宮本

8. 芙蓉荘

川竹

昼食（支那料理）

記念撮影

9. 明世寮

姜錫年

10. 目黒邸

高月

11. 大倉洋紙店、小田原製紙

井上齊治郎

一、来賓挨拶

氏

一、各自意見紹介

今泉定助氏

河飯捨藏氏、上木即審氏、三澤貫吾氏、坂戸智海氏

（ベッオールド氏事業紹介）、風見重雄氏

一、所長挨拶

一、土産菓子配付。閉会（午後四時）

十二月十八日 月曜

大乘寺へ、樹木伐裁ノ件二千シ、断リニ行ク（山田）。
門松ヲ取付ク。

十二月十九日 火曜日

弓道場敷地、測量来ル。

史料へ、金二千五百円持参（山田）。

十二月廿四日 日曜日

中学生修養会、本日ヨリ。

十二月廿五日 月曜日

第二日。

十二月廿六日 火曜日

第三日。

十二月廿七日 水曜日

第四日。

十二月廿八日 木曜日

第四日（終了式）。

十二月卅一日 日曜日

午後九時ヨリ、大祓式。

皇紀二五九四年（昭和九年）

一月一日 月曜日

午前六時、参集、日ノ出礼拝。

午前七時、拜賀式。

1. 一同入場

2. 最敬礼（二拝二拍手）

3. 勅語奉読

4. 誓念朗誦

5. 君ヶ代

6. 最敬礼

7. 退場

一月八日 月曜日

事務開始。

一月十九日 金曜日

午後二時半ヨリ、中学生修養会謝恩会。

二月三日 土曜日

午後一時、平沼小学校教員、参観。

二月七日 水曜日

感想其十、發送開始。

横浜女子専修学校、參觀。

二月十三日 火

所長、埼玉県へ講演。

三月十六日 金

横浜婦人修養会ヨリ、修道場布団ヲ寄贈サル。

三月十七日

牟田、運動中脚部ヲ負傷シ、日本医大附属病院ニ入院

ス。

三月廿五日 (日)

本日ヨリ五日間、中学生修養会ヲ行フ。

午后三時、開会式。

式次第

1. 一同入場 (生徒、父兄)

1. 二礼二拍手

1. 誓念 (所長)

1. 君ヶ代

1. 所長訓辞

1. 生徒代表宣誓文朗読 (松下君)

1. 生徒一同署名

1. 一同起立、敬礼

1. 退場 (生徒、父兄)

三月廿九日 (木)

本日午後三時、終了式。

式次第

1. 一同入場

1. 二礼二拍手ノ最敬礼

1. 誓念 (所長)

1. 君ヶ代

1. 所長訓話

1. 生徒代表答辞

1. 父兄代表挨拶

1. 臣歌

1. 一同起立、敬礼、退場

四月廿七日

小住宅、起工。

四月十九日

可知、運動中脚部ニ負傷。廿三日、日本医大医院ニ入院。

五月一日

玄関脇ノ植木来ル。植付。

五月二日

植木来ル。植付。

福島テツ氏ヨリ、紋珠様ノ幕ヲ寄贈セラル。

五月四日

藤井、結婚披露。

五月六日

富士見幼稚園十周年記念祝賀式（午前十時）。

1. 一同入場。生徒、父兄

1. 二礼二拍手、敬礼

1. 献撰

1. 十周年記念報告祭文奏上

1. 君ヶ代

1. 園長挨拶

1. 卒業生代表挨拶、男、女

1. 父兄代表挨拶

1. 一同起立、敬礼

式後、模擬店、運動会、万歳三唱、散会。